



作文1部

のうりん すい さん だい じん しょう  
農林水産大臣賞

# お米のかけはし交流

おきなわけん いしがき しりつ いしがき  
沖縄県石垣市立石垣小学校三年

いけ しろ  
池城 咲花

私の住む石垣島は、六月に新米がしゅうかくできます。日本一早く新米が食べられます。新米が出来る時、私のお家の近くにあるJAゆらていく市場に行きます。石垣島産ひとめぼれは、もちもちとふつくらして、あまくてとてもおいしいです。

石垣島で、お米が作られるようになったのは、岩手県とふかいかんけいがある事をお母さんから教えてもらいました。平成五年に、岩手県でとてもさむい日がつづき、次の年にいねとなるお米のたねを育てるのが、できなかつたのでたねを石垣島におくり、暖かい石垣島でたねを育てたそうです。育てたたねはふたたび岩手県におくられて、たうえされてたくさんのお米がしゅうかくできた事を聞きました。そ

の時から、石垣島と岩手県とのかけはし交流が始まりました。

毎年、おこなわれる石垣島まつりには岩手県の方が、おいしいお米とりんごを売りに来てくれます。

遠くに住む岩手県の人とのつながりをお米が作ってくれました。

こまっっている時に、助け合う事で強いつながりができると思いました。石垣島でもお米がしゅうかくできるようになり、私の住む石垣島のお米が食べられることに、かんしゃしたいと思います。

私が毎日食べるお米は、農家の人たちがくろやど力をして、いっしょうけんめいに育てたお米なので一つぶ一つぶを大切に、のこさず食べようと思いました。

石垣島のお米は、六月と十一月にしゅうかくできる二期作です。なので十一月に新米が食べられるのが楽しみです。